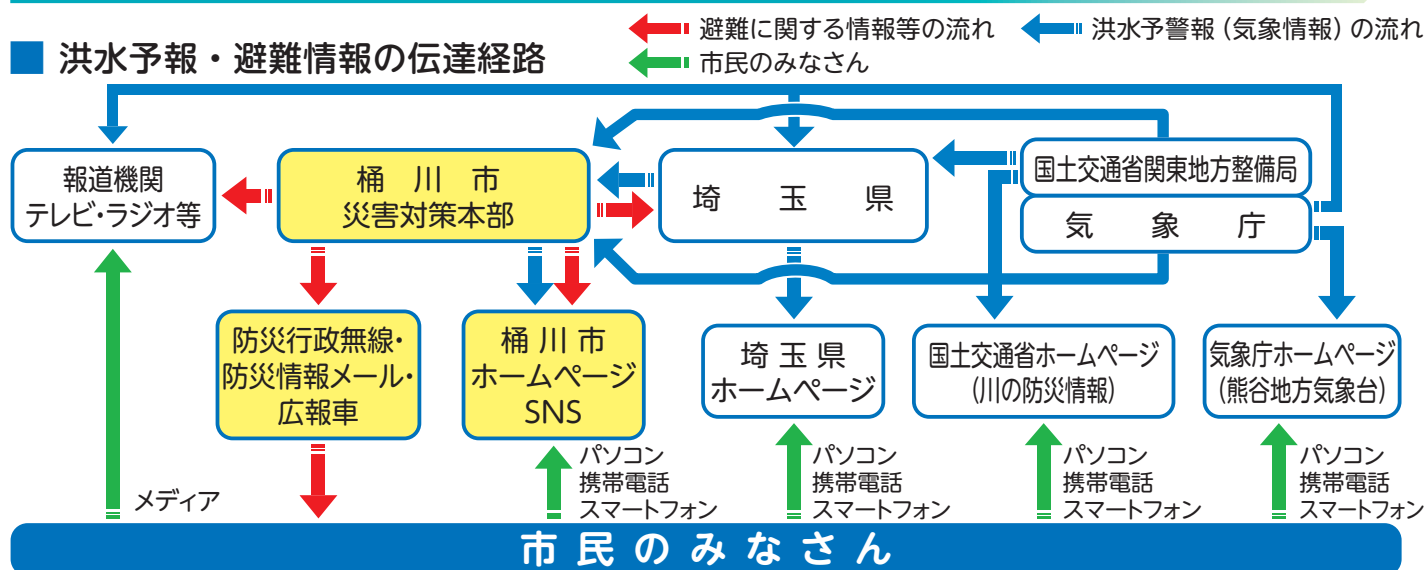


洪水ハザードマップ

災害に対して適切に対応するためには、正確な情報の収集が必要です。テレビ、ラジオ、インターネットのほかにも市からの呼びかけにも注意して、最新の気象情報・災害情報・避難情報を入手しましょう。

水害時の情報を入手

洪水予報・避難情報の伝達経路



避難情報の種類 ※令和8年度出水期から運用開始予定。

	河川氾濫 1級河川などの 大河川の氾濫	大雨 低地の浸水や 大河川以外の氾濫	土砂災害 急傾斜地の がけ崩れや土石流	避難情報の 種類	(警戒レベルごとに) 住民が とるべき行動
警戒レベル 5相当	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	緊急安全確保	命の危険 直ちに安全確保！
＜警戒レベル4までに必ず避難！＞					
警戒レベル 4相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	避難指示	危険な場所から 全員避難
警戒レベル 3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	高齢者等避難	避難に時間を要す 人は早めに避難、 避難の準備など
警戒レベル 2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報		避難行動を確認(避難 場所や避難ルート、避 難のタイミングなど)
警戒レベル 1	早期注意情報				災害への心構えを 高める

防災気象情報を活用して避難行動に役立てましょう

気象庁などから線状降水帯をはじめとした具体的な極端現象が発生または発生しつつある場合(気象防災速報)や現在及び今後の気象状況等を網羅的に伝える情報(気象解説情報)が提供されます。

気象防災速報

この情報が発表されたら、キキルなどの他の防災気象情報や、自治体が発令する避難情報にも留意し、身の安全を確保してください。

- 【例】 ●気象防災速報(線状降水帯発生)
●気象防災速報(記録的短時間大雨)

気象解説情報

現在の気象状況と今後の見込みを伝え、災害への備えや今後の行動の検討や判断を後押しする情報です。

- 【例】 ●気象解説情報(台風第〇号)
●気象解説情報(線状降水帯半日前予測)

洪水情報の発表基準

令和7年現在

	水防団待機水位	氾濫注意水位	避難判断水位	氾濫危険水位
荒川水位 熊谷水位観測所	3.00m	3.50m	5.00m	5.50m
利根川水位 八斗島水位観測所	0.80m	1.90m	3.10m	4.10m